

EBM 臨床研究論文講読実習

(Evidence Based Medicine)

【責任者氏名】

〔英 語〕 作間 未織 准教授

【実習目的】

根拠に基づく医療(Evidence based medicine: EBM)とは、現在利用可能な最も信頼できる情報をふまえて、目の前の患者にとって最善の治療を行うことである。この EBM を実践するためには、臨床的課題を解決するために有用な、信頼性の高い臨床研究論文などの情報を探し、その内容を批判的に吟味することにより、得た情報が患者にとって最善、最適であるかどうかを判断できる能力が必要不可欠である。本実習では、臨床研究の基礎知識も含め、EBM 実践のために必要な臨床研究論文の読み方を学ぶ。

【到達目標(アウトカム)】

- ☐ 論文検索データベースを用いて、担当患者の診断や治療の決断に必要な臨床研究論文を検索できる。
- ☐ 臨床研究手法を説明できる。
- ☐ 研究デザインとエビデンスレベルについて説明できる。
- ☐ 基本的な疫学及び生物統計学が理解できる。
- ☐ 臨床研究論文を批判的に吟味できる。
- ☐ 論文に示されている結果を適切に解釈できる。
- ☐ 論文から得られた情報の患者への適用を検討できる。

【概要ならびに履修方法】

- ・本実習は、「小児科/小児外科」または「産科婦人科」の臨床実習期間に実施するが、評価は「小児科/小児外科」または「産科婦人科」とは別に、独立して臨床実習と同様の評価を行う。この評価は、通常の臨床実習評価と同様に、第 5 学年次進級判定に加えるものとする。
- ・本実習は、ディスカッションや個人課題を主体にすすめるので、学生は実習中に指定される論文や課題に積極的に取り組み、能動的に実習に参加すること。

【準備学修ならびに事後学修に要する時間】

課題や論文については、初回に詳細をアナウンスするので、実習中に個々に必要な準備学習及び復習を行うこと(4-5時間程度)

【評価方法・基準】

- ・本実習は各診療科の実習と同様に、知識、態度、技術の3項目について同じ評価表を用いて評価を行う。欠席、遅刻、態度不良、消極的姿勢は、評価「B」または「C」とする。
- ・欠席あるいは遅刻した場合、その理由を実習責任者に必ず直接伝えること。止むを得ない事情で欠席したと判断された場合のみ、土曜日もしくは休暇中の指定した日時に補習を行う。
- ・当日の連絡は朝8時30分～8時45分に教育研究棟5階教養部門事務室(0798-45-6380)に届け出ること。

【注意事項】

- ・4週間コース実習のグループ6, 7, 8, 9, 10は「小児科/小児外科」臨床実習中、グループ1, 2, 3, 4, 5は「産科婦人科」実習期間中に本実習を行う。
- ・初回の集合時間及び場所は下記となる。

小児科実習	産科婦人科実習	初回日時			集合場所
グループ番号		月日	曜日	時間	
6	1	5 月 14 日	水	13:00	教育研究棟 3 階 304 室
7	2	6 月 10 日	火	13:00	教育研究棟 3 階 304 室
8	3	7 月 9 日	水	13:00	教育研究棟 3 階 304 室
10	5	9 月 24 日	水	13:00	教育研究棟 3 階 304 室
9	4	10 月 22 日	水	13:00	教育研究棟 3 階 304 室

【学生への助言】

英語や論文に対する苦手意識があっても、実習に能動的な態度で真摯に取り組むことで、論文の読み方が徐々にわかるようになります。積極的な態度で参加してください。

【オフィスアワー】

アポイントをとること。

【受講のルール、注意事項、その他】

許可のない録画、録音は慎むこと。

【連絡先】

教育研究棟 5階 英語 作間未織 准教授室